

A-1	ボタンの基本的な操作	3
A-2	操作方法	4,5
B-1	時刻モード：画面の確認	6
B-2	時刻モード：機能の確認	7
B-3	時刻モード：設定の方法	8
B-4	時刻モード：設定画面	9
C-1	釣り場情報記録モード：画面の確認	10
C-2	釣り場情報記録モード：設定の方法	11
C-3	釣り場情報記録モード：追跡機能画面	12
C-4	フィッシングアラームについて	13
D-1	アラームモード (AL)：操作方法	14
E-1	ストップウォッチモード (ST)：操作方法	15
F-1	タイマーモード (Tr)：操作方法	16
F-2	タイマーモード (Tr)：設定の方法	17
G-1	気圧計モード (BARO)：画面の確認	18
G-2	気圧計モード (BARO)：履歴の確認方法	19
G-3	気圧計モード (BARO)：履歴確認画面	20
H-1	高度計モード (ALTI)：画面の確認	21
H-2	高度計モード (ALTI)：相対高度について	22
I-1	機能説明 1	23
I-2	機能説明 2	24
I-3	機能説明 3	25
	保証書	26,27

■機能と概要

**A ボタン**

- ・設定の決定・終了
- ・バックライトの点灯

B ボタン

- ・モードの切り替え
- ・各モードで設定画面に移行
- ・設定画面中、次の項目へ移動

C ボタン

- ・設定画面中、数値の加算
- ・気圧計モードへ移行

D ボタン

- ・設定画面中、数値の減算
- ・高度計モードへ移行

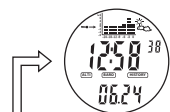
A-2 操作方法

■基本機能とセンサー機能

この腕時計には時刻モードのほかに基本機能が4つ、センサー機能が2つ、計7つのモードがあります。

【時刻モードと基本機能】

時刻モード中にBボタンを押すと、下記の順番でモードが切り替わります。



時刻モード P6～

画面中央に現在時刻が表示されます。
カレンダー、気圧傾向、気圧グラフ、
気温が確認できます。



釣り場情報記録モード P10～

HISTORY の下に▲マークが表示されます。
釣り場情報の記録、確認ができます。



アラームモード P14～

画面上部にALと表示されます。
アラームを使用できます。



ストップウォッチモード P15～

画面上部にSTと表示されます。
ストップウォッチを使用できます。



タイマーモード P16～

画面上部にTと表示されます。
タイマーを使用できます。

A-2 操作方法

【センサー機能】

時刻モードからCボタンを押すと気圧計モード、Dボタンを押すと高度計モードに切り替わります。

どちらのモードからも、Bボタンを押すと時刻モードに戻ります。

気圧計モード P18～

BARO の下に▲マークが表示されます。
気圧の確認ができます。



時刻モード P6～

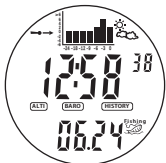


高度計モード P21～

ALTI の下に▲マークが表示されます。
高度の確認ができます。



B-1 時刻モード：画面の確認



■画面説明

上段：気圧傾向、気圧グラフ、
天気予測
中段：現在時刻
下段：カレンダー、気温

■画面の切り替え

下段の表示は、Aボタンを押すと切り替わります。



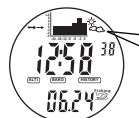
カレンダー表示



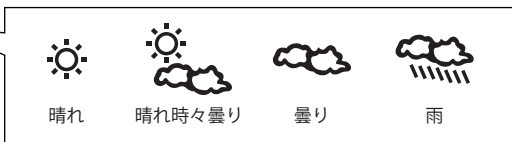
気温表示

■天気予測機能

時刻モードでは、画面右上に4種類の天気予測アイコンが表示されま



天気予測アイコン



※現在の天気を表示するものではありません。

※気圧の変化をもとに予測を行うため、高度が異なる場所を短時間で移動した場合、正確に予測できない可能性があります。

※この腕時計は一般的な天気の予測理論を採用し、天気予測を行います。短時間内での天気の劇的な変化を反映する機能はありません。

B-2 時刻モード：機能の確認

■気圧傾向について

気圧傾向は画面左上に矢印で表示されます。
現在の気圧と1時間前の気圧を比較し、上向き、下向き、横向きの矢印が表示されます。



気圧傾向の表示

1時間前と比較して気圧が1hPa以上、高くなっている場合、上向きの矢印が表示されます。



1時間前と比較して気圧が1hPa以上、低くなっている場合、下向きの矢印が表示されます。

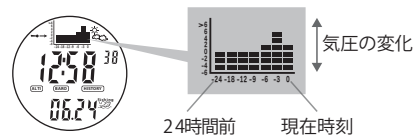


1時間前と比較して1hPa以上の気圧の変化がない場合、横向きの矢印が表示されます。



■気圧グラフ

気圧グラフは3時間ごとに更新され、過去24時間の気圧の履歴を表示します。「0」が現在時刻の気圧になります。
横軸は時間間隔、縦軸は気圧の変化を示します。
1つのメモリ(■)は1hPaを示します。



■気圧の追跡機能

時刻モードでCボタンを長押しすると、気圧の追跡機能がONになります。
Dボタンを長押しすると、釣り場情報記録モードで登録したデータがリセットされ、気圧の追跡機能がOFFになります。
気圧の追跡機能の詳細についてはP13をご確認下さい。

B-3 時刻モード：設定の方法

■時刻の設定方法

時刻モードでBボタンを長押しすると設定画面に移り、下段に「24H」もしくは「12H」が点滅します。

Cボタンを押すと数値が加算、Dボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

Bボタンを押すたびに、下記の順番で設定項目が切り替わります。

時間表示、時、分、秒、月、日、年、天気、気温の単位(°C/°F)、気温、気圧の単位(hpa/inHg)、気圧、高度の単位(m/ft)、高度、海面気圧... (右ページ参照)

全ての設定が終了した後、Aボタンを押すと時刻モードに戻ります。

※秒の設定では、CボタンもしくはDボタンを押すと、秒が「00」にリセットされます。

※設定中、30秒間操作を行わないと自動的に時刻モードに戻ります。

■気温・気圧・高度の設定範囲について

【気温の設定範囲】：-10.0°C~70.0°C

気温が70°C以上の場合、自動的に-10°Cにリセットされます。

気温が-10°C以下の場合、自動的に70°Cにリセットされます。

【気圧の設定範囲】：300hpa~1100hpa

気圧が1100hpa以上の場合、自動的に300hpaにリセットされます。

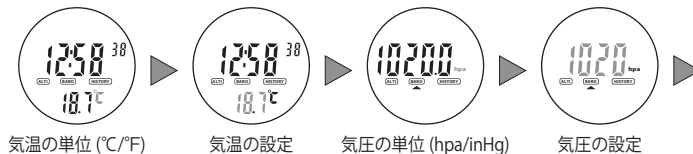
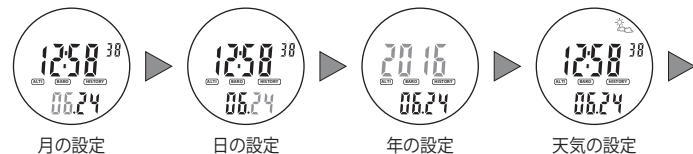
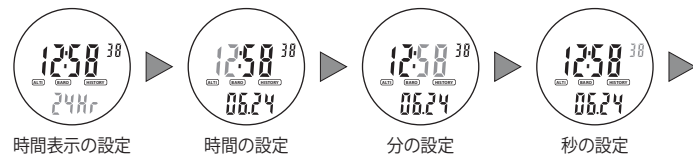
気圧が300hpa以下の場合、自動的に1100hpaにリセットされます。

【高度の設定範囲】：-698m~9862m

高度が9862m以上の場合、自動的に-698mにリセットされます。

高度が-698m以下の場合、自動的に9862mにリセットされます。

B-4 時刻モード：設定画面



C-1 釣り場情報記録モード：画面の確認



■画面説明

上段：釣り場コード

中段：釣り場の気圧

下段：水深、釣りに適した気圧、
記録日時

釣り場情報記録モード中は **HISTORY** の下に▲マークが表示されます。
釣り場情報記録モードでは、釣り場のデータを6データまで登録、閲覧
することができます。

※30秒間操作を行わないと、自動的に時刻モードに戻ります。モードロック
をかけると、釣り場情報記録モードの表示が継続します(詳細はP23)。

■画面の切り替え

釣り場情報記録モードでCボタンを押すと、釣り場コードを選択できま
す。下段の表示は、Aボタンを押すたびに下記の順で切り変わります。



釣り場コードに気圧の登録がされていない場合、中段に「---」と表示
されます。

Dボタンを押すと追跡機能画面に切り替わります(詳細はP12)。

C-2 釣り場情報記録モード：設定の方法

■釣り場の気圧の登録方法

登録したい釣り場コードを選択します。

Cボタンを長押しすると、現在の気圧と時刻を登録できます。Dボタン
を長押しすると、現在の気圧を釣りに適した気圧として登録できます。

■釣り場情報の設定方法

設定したい釣り場コードを選択します。

Bボタンを長押しすると設定画面に移り、下段の数字が点滅します。

Cボタンを押すと数値が加算、Dボタンを押すと減算します。ボタンを
長押しすると、数値を早く進めることができます。

Bボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



全ての設定が終了した後、Aボタンを押すと釣り場情報記録モードに戻
ります。

※設定中、30秒間操作を行わないと、自動的に現在の数値を保存し、釣り場
情報記録モードに戻ります。

※釣り場コードに気圧が登録されていない場合、水深と最適な気圧しか表示
されません。

■水深・気圧の設定範囲について

【水深の設定範囲】：0.0m～99.9m

【気圧の範囲】：300hpa～1100hpa

気圧が1100hpa以上の場合自動的に300hpaにリセットされます。

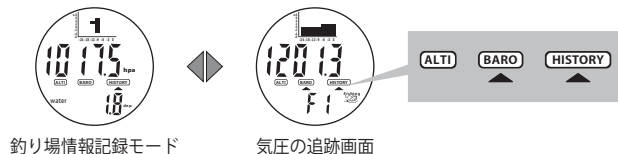
気圧が300hpa以下の場合自動的に1100hpaにリセットされます。

C-3 釣り場情報記録モード：気圧の追跡画面

■追跡機能画面

釣り場情報記録モードでDボタンを押すと、気圧の追跡画面に切り替わります。

気圧の追跡画面中は **BARO** と **HISTORY** の下に▲マークが表示されます。



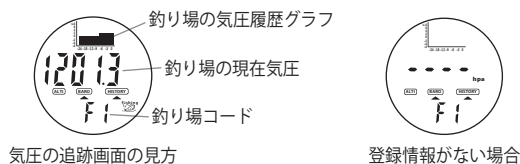
気圧の追跡画面では、選択している釣り場の現在の気圧を、離れた場所からでも確認することができます。

もう一度Dボタンを押すと、釣り場情報記録モードに戻ります。

■画面の切り替えと見方

気圧の追跡画面でCボタンを押すと、釣り場コードが切り替わります。釣り場コードの気圧を登録していれば、画面に気圧の履歴と傾向が表示されます。

※釣り場コードに気圧が登録がされていない時、Dボタンを押しても何も表示されません。

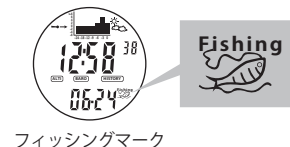


C-4 フィッシングアラームについて

■フィッシングアラーム

フィッシングアラームとは、気圧の追跡機能により、登録した釣り場の状態を知らせる機能です。

時刻モードでCボタンを長押しすると気圧の追跡機能がONになり、フィッシングマークが表示されます。



気圧の追跡機能がONの場合、登録した釣り場のうち1カ所以上が釣りに適した気圧になると、フィッシングマークが点滅します。

※釣り場情報が未登録の場合、追跡機能は使用することができません。

※釣り場情報記録モードでは、釣りに適した釣り場のみフィッシングマークが点滅します。

※時刻モードでDボタンを長押しすると釣り場情報がリセットされ、気圧の追跡機能が自動的にOFFになります。

D-1 アラームモード(AL)：操作方法




■画面説明

中段：アラーム設定時刻

下段：現在時刻

■アラームの操作方法

C ボタンを押すとアラームのON/OFFの切り替えができます。画面右側に「」が表示されていれば、アラームがONの状態です。

アラームをONにしていると、毎日設定時間に1分間音が鳴ります。

いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。

■アラームの設定方法

アラームモードでB ボタンを長押しすると、設定画面に移ります。

C ボタンを押すと数値が加算、D ボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

B ボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



時の設定



分の設定

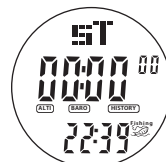


ベルマーク

全ての設定が終了した後、A ボタンを押すとアラームモードに戻ります。

※ アラームの設定を行うと、アラームが自動的にONになります。

E-1 ストップウォッチモード(ST)：操作方法



■画面説明

中段：累計計測時間

下段：現在時刻

■ストップウォッチの操作方法

C ボタンを押すと計測がスタートし、再度C ボタンを押すと、計測がストップします。これを繰り返すことで、累積時間の計測が可能です。

ストップウォッチが止まっている状態でD ボタンを押すと、数値がリセットされます。

■スプリットタイム(途中経過時間)の計測方法

このモードでは、時間を計測しながらスプリットタイムの計測ができます。

スプリットタイムは6データまで計測、記録できます。

ストップウォッチ計測中にD ボタンを押すと、スプリットタイムの記録ができます。



スプリット1

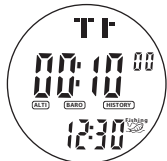
■スプリットタイムの確認方法

ストップウォッチ停止中にA ボタンを押します。

1 番目の計測結果が画面に表示された後、C ボタンを押すと次の計測結果、D ボタンを押すと前の計測結果が表示されます。

A ボタンを押すと、ストップウォッチモードに戻ります。

F-1 タイマーモード(Tr)：操作方法



■画面説明

中段：設定時間、計測時間

下段：現在時刻

■タイマーについて

このモードでは、設定した時間から0秒になるまでを計測できます。

計測時間は23時間59分59秒まで設定可能です。

カウントダウンが0秒になると、アラームが鳴ります。いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。

■操作方法

計測時間の設定(詳細はP17)終了後、Cボタンを押すとタイマーがスタートします。

もう一度Cボタンを押すとタイマーがストップします。

タイマーがストップしているときにDボタンを押すと、タイマーがリセットされ、設定した時間に戻ります。

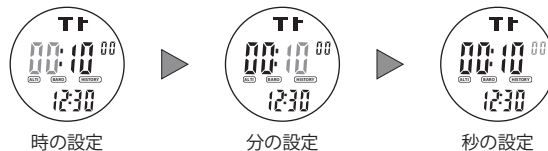
F-2 タイマーモード(Tr)：設定の方法

■タイマーの設定方法

タイマーモードでBボタンを長押しすると設定画面に移り、「時」が点滅します。

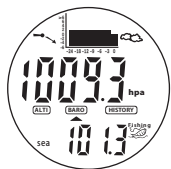
Cボタンを押すと数値が加算、Dボタンを押すと減算します。ボタンを長押しすると、数値を早く進めることができます。

Bボタンを押すたびに、下記の順番で項目が切り替わります。



全ての設定が終了した後、Aボタンを押すとタイマーモードに戻ります。

G-1 気圧計モード (BARO) : 画面の確認



■画面説明

上段：気圧傾向、気圧グラフ、
天気予測
中段：気圧
下段：海面気圧、気温

気圧計モード中は **BARO** の下に▲マークが表示されます。

※30秒間操作を行わないと、自動的に時刻モードに戻ります。モードロックをかけると、気圧計モードの表示が継続します(詳細はP23)。

■画面の切り替え

A ボタンを押すたびに、下段の表示が切り替わります。



海面気圧表示



気温表示

■気圧傾向について

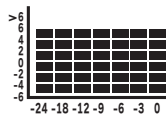
気圧傾向は画面左上に矢印で表示されます。
現在の気圧と1時間前の気圧を比較し、上向き、
下向き、横向き、の矢印が表示されます。
矢印の見方は、P7をご確認下さい。



気圧傾向の表示

■気圧グラフについて

気圧グラフは3時間ごとに更新され、過去24時間の気圧の履歴を表示します。
気圧グラフの見方は、P7をご確認下さい。



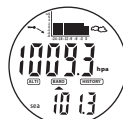
気圧グラフ

G-2 気圧計モード (BARO) : 履歴の確認方法

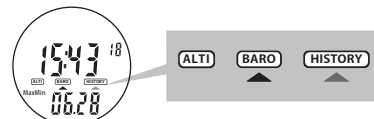
■気圧データ履歴

気圧計モードでCボタンを押すと、気圧データ履歴の確認画面に切り替わります。

履歴の確認画面中は **BARO** の下に▲マークが表示、**HISTORY** の下に▲マークが点滅します。



気圧計モード



履歴確認画面

履歴の確認画面では、直近3日間の履歴が確認できます(詳細はP20)。
Bボタンを押すと、時刻モードに戻ります。

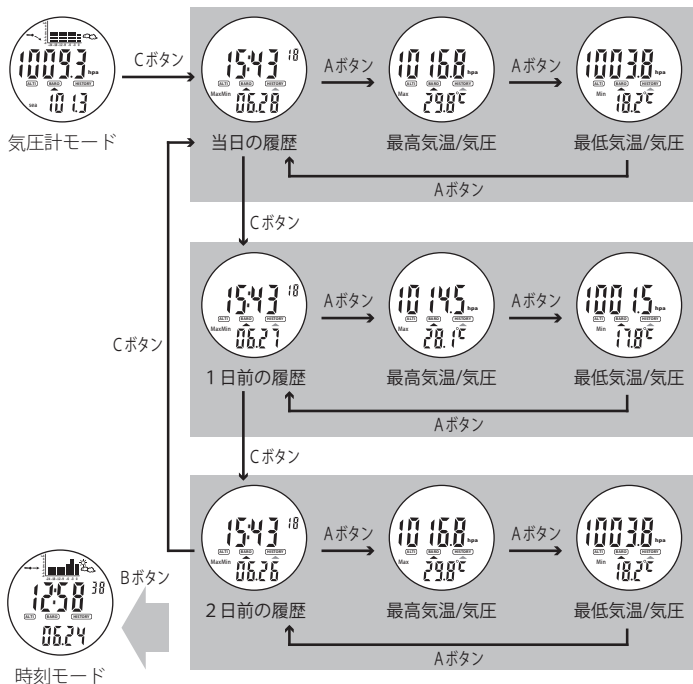
G-3 気圧計モード (BARO) : 履歴確認画面

■履歴の見方

履歴確認画面でCボタンを押すと、当日、前日、前々日の順でデータが表示されます。

Aボタンを押すと、最高気圧と最高気温、最低気圧と最低気温の順でデータが表示されます。

どの画面からでもBボタンを押すと、時刻モードに戻ります。



※気圧の履歴画面から気圧計モードに直接戻ることはできません。

H-1 高度計モード (ALTI) : 画面の確認



■画面説明

上段：天気予測

中段：絶対高度 / 相対高度

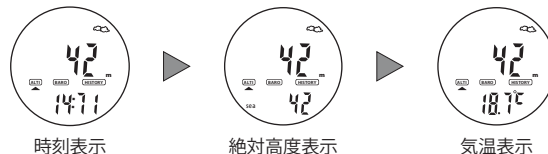
下段：現在時刻、絶対高度、気温

高度計モード中は **ALTI** の下に▲マークが表示されます。

※30秒間操作を行わないと、自動的に時刻モードに戻ります。モードロックをかけると、高度計モードの表示が継続します(詳細はP23)。

■画面の切り替え

下段の表示は、Aボタンを押すたびに切り替わります。



H-2 高度計モード (ALTI)：相対高度について

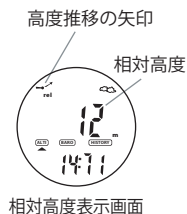
■絶対高度と相対高度の切り替え

高度計モードでDボタンを長押しすると、相対高度表示に切り替わります。

相対高度表示中は、画面左上に高度の推移を示す矢印と「rel」が表示されます。

もう一度Dボタンを長押しすると、絶対高度表示に戻ります。

※相対高度表示中にDボタンを押すと、相対高度が0mにリセットされます。

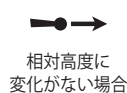


■高度推移の矢印について

相対高度が1m以上上がった場合、上向きの矢印が表示されます。

相対高度が1m以上下がった場合、下向きの矢印が表示されます。

相対高度に1m以上の変化がない場合、横向きの矢印が表示されます。



■画面の切り替え

下段の表示は、Aボタンを押すたびに切り替わります。



時刻表示



絶対高度表示




気温表示

I-1 機能説明 1

■モードロック

釣り場情報記録モード・気圧計モード・高度計モードで30秒間操作を行わないと、通常は時刻モードに戻りますが、モードロックをしていると現在のモードを表示し続けます。

上記のいずれかのモードでAボタンを長押しすると、モードロックが使用できます。画面右側に「」が表示されていれば、モードロックの状態です。モードロックは他のモードへ移行すると、自動的に解除されます。




モードロック時

■ストームアラームについて

ストームアラームは3時間の間に4hPa/0.12inHg以上の気圧の低下が発生した場合に通知する機能です。

ストームアラームが起動すると天気予測アイコンが点滅し、嵐が来ることを知らせてくれます。

■電池表示について

電池残量が少なくなった場合、画面に「」が表示されます。その場合、電池を交換して下さい。



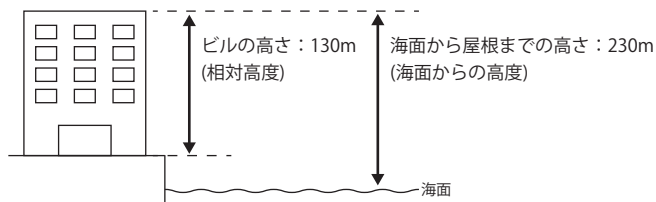
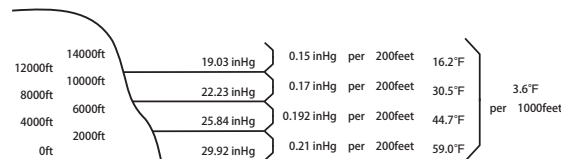
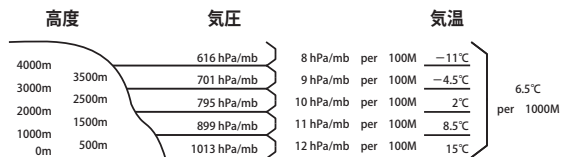
電池残量が少ない場合

I-2 機能説明 2

■高度や気圧の測定について

通常、高度が上がると気圧と気温は下がります。

この腕時計は高度を国際民間航空機関(ICAO)が定めた国際標準大気(ISA)に準じて測定しています。計測値は高度、気圧、気温の関係を定義します。



※計測値は以下の状況で変化する場合があります。

- 天気とともに気圧が変化した場合
- 気温が極端に変化した場合
- 時計に強い衝撃を与えた場合

I-3 機能説明 3

■高度と気圧を同時に計測する場合

高度と気圧の計測は、個別に行うとより正確な数値が得られます。計測の際には、下記のことにご注意下さい。

- 高度の計測を優先する場合は腕時計を手首に装着するか、腕時計の温度が一定になる場所に置いて下さい。
- 気圧の計測を優先する場合は腕時計を手首から外し、直射日光が当たらないバッグの中など、腕時計の温度が一定になる場所に置いて下さい。

※腕時計を外す際に気圧の計測値が一時的に変化します。

■気温の計測について

- 気温の急激な変化は、計測結果に影響を及ぼすことがあります。
- 気温の計測値は、体温や直射日光に左右されます。より正確な気温の計測結果を得る為には、腕時計を腕から外して下さい。もしくは直射日光の当たらない場所に置いて計測をして下さい。
- 腕時計ケースが実際の温度と一致するのに、20~30分かかります。